

(様式第4号)

## 協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体	団体名	特定非営利活動法人輝くママ支援ネットワークぱらママ
	合同提案団体	
提案事業の名称	女性のための家庭と仕事の両立を実現させるための実践型キャリア開発事業	
提案事業の目的	管理職の女性登用、女性起業家など目に見える女性の活用の施策や支援は進んでいる。また、すでに社会進出をしている女性ではなく、様々な理由で「働きたくても働けない」いわゆる「眠っている」女性（約25,000人）の活用を実現させる。そのために必要なのは個人の総合的な「仕事力」にあると考える。そこでまずはキャリア開発しっかり行いながらその「仕事力」を身に付けることで社会への第一歩をスムーズに踏み出せるようサポートする。	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<p>1. 解決する課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○社会復帰時の不安。 ブランク、家庭との両立、家族の協力と理解、スキルの衰退など</li><li>○「企業」と「働きたい女性」とのミスマッチ 企業が求める能力と女性が求められていると考える能力の違い、情報収集のミスマッチなど</li></ul> <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「女性のニーズ」は時間、家庭の事情、前述の自分自身の不安などの課題を解決して働きたい。保育園に預けて働くフルタイムではない働き方をしたい。</li><li>○「企業のニーズ」優秀な人材を欲しがっている。社内社外にけるコミュニケーション力、主体性、協調性などの内面的なことと社会人として責任ある行動のできる人材。</li></ul> <p>3. 課題解決の方策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①不安解消のための意識改革</li><li>②必要とされる人材になるためのスキルアップ</li><li>③実践</li><li>④キャリア開発</li></ul>	
協働の必要性 及び効果と目標  (協働の役割分担を含む)	<p>1. 協働の必要性和相乗効果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ネットワークの共有により、広く「働きたい女性」に当事者目線のサポートができる。</li><li>○NPOのノウハウ・力により、より効果的に対象者に必要とされる事業が実施できる。</li><li>○NPOのとの協働することにより、さんかく岡山における事業に、新しい方式をとり入れることができる。</li></ul> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○セミナー、個別相談などを通して意識改革に必要なサポートを行う。</li><li>○スキルアッププログラムのコーディネートをする。</li><li>○参加者の「よろず相談」を受け付ける。</li></ul> <p>3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○公民館などの市民利用施設を活用し広く周知を行う。</li><li>○事業の計画・実施を協働で行うことで、市の施策として実施し事業効果を上げることができる。</li><li>○事業効果を来年度以降の施策にむすびつけることの可能性について検討する。</li></ul> <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○成果物（チラシなど）を作成する。</li><li>○20名募集⇒最終的に10名修了生を育てる。</li><li>○成果物を経歴の一つに加え、的確な自己PRを行えるようにする。</li></ul>	

<p>事業の内容</p>	<p>1、事前研修「意識改革」「働くことの意識付」          ①働くこと、心構え、人生設計 ※主催者側からの投げかけ          ②参加する目的、修了終了時の目標、その後の目標を見える化 ※参加者からの発表          ③セミナー：ビジネスマナー、パソコン研修、電話対応など          2、実習1 ある程度内容が決まっている物をアレンジ          ①岡山市からチラシ作成を依頼⇒編集者（新聞記者など）によるレクチャー⇒ヒアリング調査などを行う。          ②チラシ作成レクチャー⇒完成度を上げる          3、実習2 ゼロから作成          ①岡山市からチラシ作成を依頼⇒編集者（新聞記者など）によるレクチャー⇒ターゲット・内容によりマーケティング、ヒアリング調査などを行う。          ②チラシ作成レクチャー⇒完成度を上げる          4、修了セミナー          ①自己PRスピーチ、履歴書・職務経歴書の作成、将来の目標をまとめて発表          ◆実習を通して、下記のことを実践でき、修了後に次のステップに進める          ・家庭とのバランスの取り方          ・家族の協力、理解を獲得する方法          ・ブランクに対する不安解消          ・内部、外部とのコミュニケーション力          ・実務的な力（営業、営業事務、マイクロソフトオフィス応用など）          ・キャリア開発</p>									
<p>事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 代表理事 藤井弥生          2. 個別事業責任者 岡山市市民局 女性が輝くまちづくり推進課 主査 宮本 典子          3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ          当法人の活動において、事業内容すべての実績がある。メンバー6名は全員子育て中の女性であり、参加予定者と同じ目線で対応できる。対応しきれない場合は、外部の協力者と連携する。また、修了後には、当法人の業務を通してさらにステップアップやブラッシュアップを目指すことも可能である。</p>									
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>○参加者募集開始 定員20名 チラシ、ホームページなど</td> </tr> <tr> <td>9～2月</td> <td>○意識改革セミナー ワークライフバランス、働く目的、人生設計など ○実践 「さんかく岡山」からの依頼によりチラシ制作 2パターン</td> </tr> <tr> <td>2月末</td> <td>○修了式 修了書授与、参加者による意思表示。 期間を通して学んだこと、今後目指す方向、就労に関する意欲などを発表。</td> </tr> </table>	月	実施事業内容	9月	○参加者募集開始 定員20名 チラシ、ホームページなど	9～2月	○意識改革セミナー ワークライフバランス、働く目的、人生設計など ○実践 「さんかく岡山」からの依頼によりチラシ制作 2パターン	2月末	○修了式 修了書授与、参加者による意思表示。 期間を通して学んだこと、今後目指す方向、就労に関する意欲などを発表。	
月	実施事業内容									
9月	○参加者募集開始 定員20名 チラシ、ホームページなど									
9～2月	○意識改革セミナー ワークライフバランス、働く目的、人生設計など ○実践 「さんかく岡山」からの依頼によりチラシ制作 2パターン									
2月末	○修了式 修了書授与、参加者による意思表示。 期間を通して学んだこと、今後目指す方向、就労に関する意欲などを発表。									
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人ワークライフコンサルタント</td> <td>事前研修のプログラム共同作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	期待される役割	特定非営利活動法人ワークライフコンサルタント	事前研修のプログラム共同作成					
名称	期待される役割									
特定非営利活動法人ワークライフコンサルタント	事前研修のプログラム共同作成									
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p>□次年度以後も協働での実施を希望。          具体的な目標（計画）があれば記載してください。          2年目には実習の幅と内容を高め、修了後からそのまま就労に結び付けることも事業効果の一つに加える。3年目からは当法人の収益事業として受入れ企業も募り、継続していきたいと考える。</p>									

<収 入>

費 目			金 額	内 訳
自己資金等	申請団体	自己資金	90,015	
	自己資金			
	合同提案団体負担金等			
自己資金等合計 (a)			90,015	
事業収入見込	参加費 (セミナー)		15,000	@3,000×5人 (一般) ×1回
			20,000	@4,00×5人 (一般) ×1回
	託児利用料		105,000	@700×10名×15回
事業収入見込合計 (b)			140,000	
岡山市補助金申請額 (c)			870,000	
収入合計 (c) = (a) + (b) + (c)			1,100,015	

<支 出>

費 目			金 額	内 訳
事業実施経費	講師謝金・日当 (セミナー)		240,000	@30,000×8人
	講師謝金 (チラシ講座・実習)		50,000	講座 @30,000/回+制作 @10,000/回×2回
	講師交通費		24,000	@12,000×2回 (神戸市内より)
	人件費 (当法人)		315,000	参加者の個別サポーター、欠席者への補講 @45,000×9月～翌3月
	人件費 (当法人)		240,000	託児運営費 @16,000×15回 (講座12回、オリエンテーション1回、交流会1回、修了式1回)
	使用料 (備品リース)		80,000	パソコン@1,000×20台×4日
	通信運搬費		3,280	@82×40通
	委託費 (チラシ作り)		10,000	募集チラシ(デザイン)
	広告宣伝費		10,000	募集告知用HP作成 (1~2ページ)
	印刷製本費		6,735	募集チラシ(紙代)
	印刷製本費		6,000	修了書@300×20枚
	雑費		20,000	レジメ紙代、文房具など
事業実施経費合計 (d)			1,005,015	
営管 経理 費運	人件費 (委託)		95,000	事務手続き+当日運営 (講座12回、オリエンテーション1回、交流会1回、修了式1回) @5,000×15回、報告書など書類作成@20,000
管理運営費合計 (e)			95,000	
業費 (f) = (d) + (e)			1,100,015	※収入合計 (c) と同額